

科目名称	基礎英語 I A①～⑩			授業コード	10106022
担当教員	秋宗 英生、上河 創、岡村 光浩				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語／必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル及び Microsoft 365 (Teams / Stream / OneDrive)
履修制限等	予備登録実施
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit 1: What's your major? (1) Warm-Up ~ Grammar 3：Unit 1: What's your major? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 4：Unit 2: How do you like your new school? (1) Warm-Up ~ Grammar 5：Unit 2: How do you like your new school? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 6：Unit 3: Let me introduce a new member to you. (1) Warm-Up ~ Grammar 7：Unit 3: Let me introduce a new member to you. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 8：Unit 4: How was your Golden Week? (1) Warm-Up ~ Grammar 9：Unit 4: How was your Golden Week? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 10：Unit 5: I'm looking for a part-time job. (1) Warm-Up ~ Grammar 11：Unit 5: I'm looking for a part-time job. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 12：Unit 6: What do you call this in Japanese? (1) Warm-Up ~ Grammar 13：Unit 6: What do you call this in Japanese? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 14：Unit 7: Have you been there? (1) Warm-Up ~ Grammar 15：Unit 7: Have you been there? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!
実務経験のある教員	
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。不確かな文法事項や語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。 その他の課題については、授業時に担当講師より指示する。 なお使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する場合があります（使用する場合は授業時に担当講師より指示する）。
評価方法	・15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 ・Optionalの課題がある場合は、加点する。 ・加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。 ※使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する場合があります（使用する場合は授業時に担当講師より指示する）。
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントを授業内で公開する。 「リンガポルタ」を授業外学習として使用する場合、フィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認できる。
使用テキスト	角山照彦、Simon Capper『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus』成美堂、2019年
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』Cambridge UP、その他各担当講師より指示する。
各自準備物	・英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ウィズダム（三省堂）・ジーニアス（大修館）等 ・PC・タブレット・スマートフォン（KDU ポータル及び Microsoft 365 が利用可能な環境）
実習費	

<p>その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英語 I は必修科目である。また基礎英語 II の履修には基礎英語 I の単位取得が必須である。 2. テキストは基礎英語 IA・IIA で同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則 4 回まで（予備登録期間含む）。 ※課題が未提出の場合は、『欠席』とする。 5. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関連したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。 <p>※コロナ禍対応のため遠隔授業で実施の予定。 学年始めに配布される時間割から授業日（配信曜日・時限）が変更される可能性がある。 また新型コロナウイルス感染症の流行状況により学期途中で方針が変更される可能性もある ので、担当講師からの連絡には常に注意すること。</p>
------------	---

科目名称	基礎英語 I B①～⑤			授業コード	11206022
担当教員	ラッタ 政美、アラルケンザ宝				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語／必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit1:Meeting People(1): Greeting People / Making Introductions 3：Unit1:Meeting People(2): Reviewing Simple Present Tense / Making Personal Profiles 4：Unit2:Time to Eat(1): Asking about a Meal / Talking about Eating Habits 5：Unit2:Time to Eat(2): Reviewing Simple Past Tense / Writing about Festivals 6：Unit3:Living withTechnology(1): Making Suggestions / Making and Responding to Invitations 7：Unit3:Living withTechnology(2): Reviewing Present Continual Tense / Using Internet Language 8：Unit4:Shopping for Clothes(1): Receiving Customers 9：Unit4:Shopping for Clothes(2): Reviewing Comparatives and Superlatives / Writing Clothing Reviews 10：Unit5:A Helping Hand at Home(1): Complaining about Machines / Asking for a Lower Price 11：Unit5:A Helping Hand at Home(2): Reviewing Possessive Nouns, Pronouns, Adjectives and Correlative Conjunctions / Making Flyers 12：Unit6:Going Places(1): Asking for and Giving Directions 13：Unit6:Going Places(2): Reviewing Modals / Writing Directions 14：Unit7:Not Feeling So Good(1): Making an Appointment 15：Unit7:Not Feeling So Good(2): Reviewing Linking and Causative Verbs / Writing Medical History				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	1. 15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 2. Optionalの課題がある場合は加点する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題は採点され、KDUポータルで個別に公開する。必要ならコメントを書く場合があるので、確認しておくこと。 2. 提出期限の翌日、解答と解説を補助資料として公開する。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book1 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』CambridgeUP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）等				
実習費					
その他	1. 基礎英語 I は必修科目である。また基礎英語 II の履修には基礎英語 I の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語 IB・IIB で同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。課題が未提出の場合は「欠席」とする。 5. 積極的な Global Cafe の利用／英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語 I C①		授業コード	11806022	
担当教員	小橋 薫、ラッダ 政美				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語／必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit 1: Roommates (1): Describing Personal Quality / Asking about Problems 3：Unit 1: Roommates (2): Reviewing Simple Future Tense / Making Personal Profiles 4：Unit 2: Checking Out (1): Making Suggestiotns / Giving Warnings 5：Unit 2: Checking Out (2): Reviewing Adverbial Clauses / Writing Shopping Tips 6：Unit 3: Get in Shape (1): Discussing Health 7：Unit 3: Get in Shape (2): Reviewing Noun Clauses / Making Peranal Trainer Ad 8：Unit 4: Money Management (1): Describing Finantial Situation / Talking about Personal Budget 9：Unit 4: Money Management (2): Reviewing Negative Qestions / Applying for Scholarship 10：Unit 5: Close Ties (1): Expressing Surprise / Talking about Progress 11：Unit 5: Close Ties (2): Reviewing Tag Questions / Giving Advice 12：Unit 6: Time to Celebrate (1): Making and Respoding to Invitations 13：Unit 6: Time to Celebrate (2): Reviewing Relative Clauses / Making Festival Flyers 14：Unit 7: Animals in Danger (1): Being Frank and Joking / Showing Understanding 15：Unit 7: Animals in Danger (2): Reviewing Simple Past Tense vs. Present Perfect Tense / Making Charity Flyer				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	1. 15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 2. Optionalの課題がある場合は加点する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題は採点され、KDUポータルで個別に公開する。必要ならコメントを書く場合があるので、確認しておくこと。 2. 提出期限の翌日、解答と解説を補助資料として公開する。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book2 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』CambridgeUP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）等				
実習費					
その他	1. 基礎英語 I は必修科目である。また基礎英語 II の履修には基礎英語 I の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語 IC・IIC で同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。課題が未提出の場合は、「欠席」とする。 5. 積極的な Global Cafe の利用／英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語 I A R		授業コード	20106022	
担当教員	岡村 光浩				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	必修、外国語／必修、コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル及び Microsoft 365 (Teams / Stream / OneDrive)				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit 1: What's your major? (1) Warm-Up ~ Grammar 3：Unit 1: What's your major? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 4：Unit 2: How do you like your new school? (1) Warm-Up ~ Grammar 5：Unit 2: How do you like your new school? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 6：Unit 3: Let me introduce a new member to you. (1) Warm-Up ~ Grammar 7：Unit 3: Let me introduce a new member to you. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 8：Unit 4: How was your Golden Week? (1) Warm-Up ~ Grammar 9：Unit 4: How was your Golden Week? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 10：Unit 5: I'm looking for a part-time job. (1) Warm-Up ~ Grammar 11：Unit 5: I'm looking for a part-time job. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 12：Unit 6: What do you call this in Japanese? (1) Warm-Up ~ Grammar 13：Unit 6: What do you call this in Japanese? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 14：Unit 7: Have you been there? (1) Warm-Up ~ Grammar 15：Unit 7: Have you been there? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。不確かな文法事項や語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。 その他の課題については、授業時に担当講師より指示する。 なお使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する場合があります（使用する場合は授業時に担当講師より指示する）。				
評価方法	・15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 ・Optionalの課題がある場合は、加点する。 ・加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。 ※使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する場合があります（使用する場合は授業時に担当講師より指示する）。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントを授業内で公開する。 「リンガポルタ」を授業外学習として使用する場合、フィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認できる。				
使用テキスト	角山照彦、Simon Capper『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus』成美堂、2019年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』Cambridge UP、その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	・英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ウィズダム（三省堂）・ジーニアス（大修館）等 ・PC・タブレット・スマートフォン（KDU ポータル及び Microsoft 365 が利用可能な環境）				
実習費					

<p>その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英語 I は必修科目である。また基礎英語 II の履修には基礎英語 I の単位取得が必須である。 2. テキストは基礎英語 IA・IIA で同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則 4 回まで（予備登録期間含む）。 ※課題が未提出の場合は、『欠席』とする。 5. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関連したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。 <p>※コロナ禍対応のため遠隔授業で実施の予定。 学年始めに配布される時間割から授業日（配信曜日・時限）が変更される可能性がある。 また新型コロナウイルス感染症の流行状況により学期途中で方針が変更される可能性もある ので、担当講師からの連絡には常に注意すること。</p>
------------	---

科目名称	基礎英語 I BR		授業コード	20206022	
担当教員	アラル・ケンザ宝				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロファイル				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能(listening, speaking, reading, writing)を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit1:Meeting People(1): Greeting People / Making Introductions 3：Unit1:Meeting People(2): Reviewing Simple Present Tense / Making Personal Profiles 4：Unit2:Time to Eat(1): Asking about a Meal / Talking about Eating Habits 5：Unit2:Time to Eat(2): Reviewing Simple Past Tense / Writing about Festivals 6：Unit3:Living withTechnology(1): Making Suggestions / Making and Responding to Invitations 7：Unit3:Living withTechnology(2): Reviewing Present Continual Tense / Using Internet Language 8：Unit4:Shopping for Clothes(1): Receiving Customers 9：Unit4:Shopping for Clothes(2): Reviewing Comparatives and Superlatives / Writing Clothing Reviews 10：Unit5:A Helping Hand at Home(1): Complaining about Machines / Asking for a Lower Price 11：Unit5:A Helping Hand at Home(2): Reviewing Possessive Nouns, Pronouns, Adjectives and Correlative Conjunctions / Making Flyers 12：Unit6:Going Places(1): Asking for and Giving Directions 13：Unit6:Going Places(2): Reviewing Modals / Writing Directions 14：Unit7:Not Feeling So Good(1): Making an Appointment 15：Unit7:Not Feeling So Good(2): Reviewing Linking and Causative Verbs / Writing Medical History				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎回テキスト、オンライン、補助教材で予習・復習する課題がある。				
評価方法	1. 15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 2. Optionalの課題がある場合は加点する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題は採点され、KDUポータルで個別に公開する。必要ならコメントを書く場合があるので、確認しておくこと。 2. 提出期限の翌日、解答と解説を補助資料として公開する。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book1 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』CambridgeUP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）等				
実習費					
その他	1. 基礎英語 I は必修科目である。また基礎英語 II の履修には基礎英語 I の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語 IB・IIB で同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。課題が未提出の場合は「欠席」とする。 5. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語Ⅱ A①～⑧		授業コード	20106221	
担当教員	秋宗 英生、上河 創、岡村 光浩				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル及び Microsoft 365 (Teams / Stream / OneDrive)				
履修制限等	予備登録実施				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit 8: Could you tell me how to get there? (1) Warm-Up ~ Grammar 3：Unit 8: Could you tell me how to get there? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 4：Unit 9: What do you want me to do? (1) Warm-Up ~ Grammar 5：Unit 9: What do you want me to do? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 6：Unit 10: I'm on a tight budget. (1) Warm-Up ~ Grammar 7：Unit 10: I'm on a tight budget. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 8：Unit 11: What do you think of this program? (1) Warm-Up ~ Grammar 9：Unit 11: What do you think of this program? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 10：Unit 12: I'm reviewing what I studied. (1) Warm-Up ~ Grammar 11：Unit 12: I'm reviewing what I studied. (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 12：Unit 13: Final exam week is so stressful! (1) Warm-Up ~ Grammar 13：Unit 13: Final exam week is so stressful! (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write! 14：Unit 14: Is this your first trip abroad? (1) Warm-Up ~ Grammar 15：Unit 14: Is this your first trip abroad? (2) Let's Read! ~ Let's Read Aloud & Write!				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。不確かな文法事項や語彙等については、参考テキストや辞書等を活用し復習しておくこと。 その他の課題については、授業時に担当講師より指示する。 なお使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、授業時間外学習の課題として使用する場合があります（使用する場合は授業時に担当講師より指示する）。				
評価方法	・15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。 ・Optionalの課題がある場合は、加点する。 ・加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。 ※使用テキストは「リンガポルタ」Web システム { https://goo.gl/RvBW69 } に対応しているので、e-learningでの得点を平常点に加味する場合があります（使用する場合は授業時に担当講師より指示する）。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントを授業内で公開する。 「リンガポルタ」を授業外学習として使用する場合、フィードバックは自動で行われ、学習項目の定着の度合いは受講者・担当講師の双方が確認できる。				
使用テキスト	角山照彦、Simon Capper『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus』成美堂、2019年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』Cambridge UP、その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	・英和/和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ウィズダム（三省堂）・ジーニアス（大修館）等 ・PC・タブレット・スマートフォン（KDU ポータル及び Microsoft 365 が利用可能な環境）				
実習費					
その他	1. 基礎英語Ⅱの履修には基礎英語Ⅰ（必修）の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語ⅠA・ⅠIAで同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。 ※課題が未提出の場合は、『欠席』とする。 5. 積極的な Global Cafe の利用／英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語Ⅱ B①～⑤		授業コード	22106221	
担当教員	岡村 光浩、ラッタ 政美、アラルケンザ宝				
単位数	1	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	1	開講年度	2021	開講学期	後期
関連資格	教職				

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。				
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。				
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit8:The Big Screen(1): Apologizing / Talking about Movies 3：Unit8:The Big Screen(2): Reviewing Prepositions about Time / Writing Movie Reviews 4：Unit9:How Do you Feel?(1): Asking about Someone's Feeling / Talking to People with Different Feelings 5：Unit9:How Do you Feel?(2): Reviewing Participial Adjectives / Writing Life Stories 6：Unit10:All in Good Fun(1): Talking about Likes and Dislikes / Asking for and Giving Opinions 7：Unit10:All in Good Fun(2): Reviewing Gerunds and Infinitives / Writing about Pastime 8：Unit11:GameTime(1): Talking about Injuries / Listing Requirements 9：Unit11:GameTime(2): Reviewing Past Continuous Tense / Writing about Favorite Sports 10：Unit12:Rain or Shine(1): Describing Weather Conditions 11：Unit12:Rain or Shine(2): Reviewing Simple future Tense / Writing Sportm Warnings 12：Unit13:Eating out(1): Ordering a Meal 13：Unit13:Eating out(2): Reviewing Indefinite Pronouns / Writing Restarurant Reviews 14：Unit14:School Life(1): Discussing Problems / Stating your Goals 15：Unit14:School Life(2): Reviewing Present Perfect Tense / Writing Job Applications				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。				
評価方法	15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。Optionalの課題がある場合は、加点する。加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントをKDUポータルで公開する。				
使用テキスト	NEW CONNECTION Book1 成美堂 2018年				
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』CambridgeUP, その他各担当講師より指示する。				
各自準備物	英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）等				
実習費					
その他	1. 基礎英語Ⅱの履修には基礎英語Ⅰ（必修）の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語ⅠB・ⅠIBで同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。課題が未提出の場合、「欠席」とする。 5. 積極的なGlobalCafeの利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。				

科目名称	基礎英語Ⅱ C	授業コード	23106221
担当教員	小橋 薫		
単位数	1	授業形態	講義
年次	1	開講年度	2021
関連資格	教職	科目分類	外国語/コミュニケーション
		開講学期	後期

対面・遠隔の別	遠隔（オンデマンド）
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロファイル
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照
授業の目的と到達目標（学習成果）	英語による基本的なコミュニケーションに必要な語彙、文法知識を習得し、listening, speaking, reading, writing の4技能の向上を目指す。
授業の概要（内容）	各ユニットが扱うトピックに必要な語彙と文法項目を学び、それらを4技能（listening, speaking, reading, writing）を通してコミュニケーションに応用していく。
授業計画	1：オリエンテーション（授業のねらい、テキストについて、学習の進め方、その他） 2：Unit 8: A Fine Art (1): Talking about Natural Talents 3:Unit 8: A Fine Art (2): Reviewing Conditionals / Writing about Art Advice 4：Unit 9: Tune In (1): Talking about How to Relax 5：Unit 9: Tune In (2): Rviewing Present Perfect Continuous / Writing about TV Habits 6：Unit 10: Music to Orr Ears (1): Dsicussing Success / Talking about Influence 7：Unit 10: Music to Orr Ears (2): Reveiwing Relative Clauses / Writing Band Flyers 8：Unit 11: Study Abroad (1): Talking about Easy and Difficult Things / Expressing Worry 9：Unit 11: Study Abroad (2): Reviewing Relative Adverbs / Writing about Studying Abroad 10：Unit 12: Technology and You (1): Expressing Function /Discussing Technnology 11：Unit 12: Technology and You (2): Reviewing Reported Speech / Writing about Inventions 12：Unit 13: Right and Wrong (1): Sharing Information / Showing Anger 13：Unit 13: Right and Wrong (2): Reviewing Subject and Verb Agreement / Writing Moral Advice 14：Unit 14: Your Career Starts Now (1): Giving Encouragemnet / Discussing Possibility 15：Unit 14: Your Career Starts Now (2): Reviewing Infinitives / Writing Job Applications
実務経験のある教員	
授業時間外学習	毎授業相当日にオンラインで課題を出す。
評価方法	15回の授業で課される課題の平均点を100%評価の対象とする。Optionalの課題がある場合は、加点する。加点の割合はそれぞれの担当教員より指示する。
課題・試験に対するフィードバックの方法	提出された課題については、採点またはコメントをKDUポータルで公開する。
使用テキスト	NEW CONNECTION Book2 成美堂 2018年
参考テキスト・URL	『総合英語 Factbook』桐原書店、『ジーニアス総合英語』大修館書店、『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第4版』CambridgeUP, その他各担当講師より指示する。
各自準備物	英和／和英辞典：コンパスローズ（研究社）・ジーニアス（大修館）・ウィズダム（三省堂）等
実習費	
その他	1. 基礎英語Ⅱの履修には基礎英語Ⅰ（必修）の単位取得が必要である。 2. テキストは基礎英語ⅠB・ⅠIBで同じものを継続使用する。 3. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 4. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。課題が未提出の場合、「欠席」とする。 5. 積極的なGlobalCafeの利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 6. その他詳細は各担当講師より指示する。

科目名称	英語コミュニケーション A/ I ①②⑤			授業コード	10106044
担当教員	ラッダ 政美				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	前期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（リアルタイム・オンデマンド混合）				
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータルクラスプロフィール、Zoom				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	海外生活での具体的な場面を想定した授業で、日常生活の様々な場面における英語の語彙、表現を身につけることで、英語によるコミュニケーション運用に慣れ親しみ、即座に英語で発話・応答できる能力を育成する。また異文化への関心・理解が高まり、積極的に接するようになる。（以上『英語コミュニケーション』全クラスの共通テーマ） この授業では、神戸芸術工科大学2年生が1年間アメリカに留学するという設定で、慣用句、会話独特の言い回しなどを含めた語彙力、表現力を向上させ、英語のコミュニケーション能力を高める。ある特定の状況の中で必要な情報を得るという目的をもって学んだ会話表現を自然に使えるようにする。				
授業の概要（内容）	学生たちは、オンデマンド型の授業で、会話独特の言い回しを学び、リアルタイム型授業では、ロールプレイ、タスク、シミュレーション、プレゼンテーションを通して何度も発話することで、学んだ表現を脳に定着させ、意識せずに必要な表現が覚えられるようにする。				
授業計画	1：Orientation（授業のねらい、授業中の注意点・取り組み方、テキストの内容、予習・復習の方法などを説明する。） 2：Intercultural experience(1)（イースターについて学ぶ。） 3：Self-introduction（ホストファミリーに自己紹介する。） 4：Solving a communication gap(1)（相手の英語が聞き取れなかった時、その解決方法・表現を学ぶ。） 5：Solving a communication gap(2)（Immigration, Customs でのやりとりをシミュレーションする。） 6：Getting to know each other:（お互いの情報を交換する。また第三者にクラスメートを紹介する。） 7：Dealing with numbers（銀行口座を開く設定で英語の数字に慣れ、適切に数字を使えるようにする。） 8：How often?（自分の日課を頻度の表現を使って説明する。） 9：Talking about health concerns（病気の表現を学び、症状を英語で説明できるようにする。） 10：Describing locations（英語の地図上のいろいろな建物の名前と位置関係を学ぶ。） 11：Asking & giving directions(1)（簡単な地図を使って英語の道案内を聞き取る、また道案内をする。） 12：Asking & giving directions(2)（複雑な地図を使って英語の道案内を聞き取る、また道案内をする。） 13：Shopping(1)（単数アイテムのショッピングをシミュレーションする。） 14：Shopping(2)（複数アイテムのショッピングをシミュレーションする。） 15：Review（与えられた状況で英語の会話を作り、ロールプレイで発表する。）				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	課題を1週間前に出すので必ずやっておくこと。授業は課題が完成していることを前提に行う。				
評価方法	15回の授業で課される課題の平均点(60%)とリアルタイム授業の進行に関する発言・発表などの積極性や貢献度(40%)を合わせて評価の対象とする。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	課題は採点し、解答・解説を公開する。トピックに関するレポートその他、提出された課題については、コメントをつけて返却する。				
使用テキスト	教材はすべてプリントを使用し、KDU ポータルクラスプロフィールを通じて配布する。				
参考テキスト・URL	授業内で随時紹介する。				
各自準備物	授業中特別な場合を除き辞書はいつでも使えるので、電子辞書を用意するように。				
実習費					
その他	1. 授業内容についてはクラス毎の進捗等により調整する場合がある。 2. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なおリアルタイム型授業での遅刻30分以上は欠席扱いとする。 3. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 4. その他詳細は担当講師より指示する。 5. 「基礎英語 I」の A クラスを修了した学生の履修が望ましい。				

科目名称	英語コミュニケーション A/ I ③④⑦			授業コード	10306044
担当教員	MACAULEY MYLES				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	前期/後期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（リアル・オンデマンド混合）
遠隔の場合の主なツール	KDU ポータル、Zoom
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照
授業の目的と到達目標（学習成果）	外生活での具体的な場面を想定した授業で、日常生活の様々な場面における英語の語彙、表現を身につけることで、英語によるコミュニケーション運用に慣れ親しみ、即座に英語で発話・応答できる能力を育成する。また異文化への関心・理解が高まり、積極的に接するようになる。（以上『英語コミュニケーション』全クラスの共通テーマ） この授業では、学生たちは、授業で設定された様々な状況下でのロールプレイ、タスク、シミュレーション、プレゼンテーションを体験し、慣用句、会話独特の言い回しなどを含めた語彙力、表現力を向上させ、英語のコミュニケーション能力を高める。学習した役立つ表現と単語をさまざまな場面で自信をもって話せるようになる。
授業の概要（内容）	日常生活の中でさまざまな場面において英語のコミュニケーション能力を高めることを目的とします。 この授業では主に話す事と聞き取ることを中心とした活動を行って行きます。 実用的な英語コミュニケーションに役立つ表現と単語を身につけて行きます。
授業計画	1：Orientation. Getting to know each other. Classroom language 2：Talking about yourself. Interests and hobbies 3：Shopping for clothes. Fluency with money and prices 4：Recommending things to do and places to visit 5：In a restaurant; Talking about Japanese food 6：Talking about routines and frequency 7：Talking about places you have visited. Giving opinions 8：Asking for and giving directions 9：Talking about occupations and part-time jobs 10：Accidents and minor injuries. Giving advice 11：Asking for and giving suggestions 12：Talking about past experiences 13：Describing things. Reporting things lost 14：Talking about future plans 15：Review
実務経験のある教員	
授業時間外学習	授業後に学習内容を必ず復習し、語彙・表現を再確認すること。
評価方法	授業内ロールプレイ&スピーキング & 提出物 75% ; 授業内小テスト 25%
課題・試験に対するフィードバックの方法	
使用テキスト	教材は授業でプリントを配布します。
参考テキスト・URL	
各自準備物	辞書または電子辞書を持参すること
実習費	
その他	1. 授業内容についてはクラス毎の進度等により調整する場合がある。 2. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なおリアルタイム型授業での遅刻 30 分以上は欠席扱いとする。 3. 積極的な Global Cafe の利用・英語による／英語に関係したイベントへの参加を推奨する。 英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 4. その他詳細は担当講師より指示する。 5. 「基礎英語 I」の B または C クラスを修了した学生の履修が望ましい。

科目名称	英語コミュニケーション A/II ⑥⑧		授業コード	10606044	
担当教員	安田 有紀子				
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	外国語/コミュニケーション
年次	2	開講年度	2021	開講学期	前期/後期
関連資格					

対面・遠隔の別	遠隔（リアル・オンデマンド混合）				
遠隔の場合の主なツール	1) オンデマンドの場合、OneDrive 内に授業ビデオを入れます。 2) リアルタイムの場合、Zoom を利用して授業を行います。				
履修制限等	予備登録実施、「その他」参照				
授業の目的と到達目標（学習成果）	海外生活での具体的な場面を想定した授業で、衣食住の様々な状況で適切な英会話ができるようになる。またその状況の中で必要な情報を得るためだけでなく、円滑なコミュニケーションを通じて、よりよい人間関係を作り上げることができる。さらに相互尊重の視点から、異文化と自国文化を比較できるようになる。（以上『英語コミュニケーション』全クラスの共通テーマ） この授業では、神戸芸術工科大学2年生が1年間アメリカに留学するという設定で、現地での生活において出会う可能性のある慣用語、会話独特の言い回しなどを含めた語彙力、表現力を向上させ、英語コミュニケーション能力を高める。留学の初期を想定し、自分や自分の身の回りのことについて説明できるようにトピックを取り上げ、それらの状況に応じた会話表現を使えるようにする。				
授業の概要（内容）	設定された場面で必要となる会話表現を何度も繰り返し発話練習することで、表現の定着を図る。また、自分のことについて様々な内容を話すことができるようになるために、ペアワーク、グループワークを用いて1~2分程度の簡単なプレゼンテーションを毎時授業初めに行う。				
授業計画	1: Orientation（授業の概要、成績評価、授業中の注意点等について説明する。教室英語を学ぶ） 2: Talking about yourself（自己紹介とスモールトークができるようにする。） 3: Getting to know each other（相手のことを知る表現・誘う表現を学ぶ。） 4: Solving a communication gap（聞き直しの表現を学ぶ。） 5: Shopping (1)（買い物で使う表現を学ぶ。） 6: Complements（相手をほめる） 7: Showing interest（あいづちをうったり、相手に興味を示す。） 8: My favorite（自分の好みについて話す。） 9: Describing locations（位置関係を表す表現を学ぶ。） 10: Asking & giving directions（道案内の表現を学ぶ。） 11: Thanks & apologies（お礼や謝罪の表現を学ぶ。） 12: Complaints（苦情を伝える。） 13: Requests（丁寧に依頼する。） 14: Saying “no”（断り方の表現を学ぶ。） 15: Review（前期で学んだ表現の総復習及びロールプレイで発表する。）				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	課題を1週間前に出すので必ずやっておくこと。授業は課題が完成していることを前提に行う。				
評価方法	授業内評価：小テスト 50% 授業外評価：宿題・課題 50%				
課題・試験に対するフィードバックの方法	授業中に行う小テストは授業時間中に答え合わせをする。 提出された課題については、教員が確認し後日学生に返却する。				
使用テキスト	授業中にプリントを配布する。				
参考テキスト・URL	授業内で紹介する。				
各自準備物	電子辞書を持参すること。				
実習費					
その他	1. 授業内容についてはクラス毎の震度等により調整する場合がある。 2. 欠席は原則4回まで（予備登録期間含む）。なおリアルタイム型授業での遅刻30分以上は欠席扱いとする。 3. 積極的なGlobal Caf?の利用・英語による/英語に関係したイベントへの参加を推奨する。英語イベントへの参加等については成績に加味する場合がある。 4. その他詳細は担当講師より指示する。				